

技能五輪全国大会優勝者の訓練状況調査について

中央職業能力開発協会技能振興部

技能五輪全国大会等の技能競技大会は、大会に向けた訓練による技能の向上など、技能者の育成において重要な役割を担っております。

近年、本競技大会に新規に参加する企業等から優秀な成績を収めている企業等の訓練状況について多くの問い合わせが寄せられています。

また、優秀な成績の選手の訓練状況は多くの企業にとって、今後の訓練等において非常に参考になる重要な情報です。

このため、当協会では平成24年度の技能五輪全国大会優勝選手の企業等に対してアンケートを実施し、訓練概況を、全体、機械系職種、建設・建築系職種など分野ごとに対して取りまとめました。アンケートの回答状況及びアンケート内容は以下の通りです。

(アンケート内容)

1 選手の知識・技能

(1)優勝選手の知識、技能

入社・入学時に当該職種に関して、知識、技能を有していましたか。

- 知識、技能をほとんど有していなかった
- 基礎的な知識、技能（技能検定3級程度）を有していた
- 十分な知識、技能（技能検定2級程度）を有していた

(2) 現在所属の企業、学校に入社・入学して何年目ですか

2 訓練期間について

(1)技能五輪全国大会以前の訓練について

優勝選手について、技能五輪全国大会の選手に選抜される以前又は「技能五輪全国大会に向けた職業訓練」以前に、参加職種に係る基礎的な訓練を行っていましたか。

- はい
- いいえ

「はい」の場合

ア 基礎的な訓練の開始時期： 入社・入学から（ ）か月

イ 基礎的な訓練の期間及び1日当たりの平均時間：

約（ ）か月・1日平均約（ ）時間

ウ 訓練の方法：

- OFF-JTのみ
- OJTのみ

OFF-JTとOJTの両方

OFF-JTとOJTの両方であるがOFF-JTを重点に訓練

OFF-JTとOJTの両方であるがOJTを重点に訓練

OFF-JTとOJTの両方に重点

その他

エ 実技と座学の比率： 実技：座学=概ね（ ）対（ ）

(2)技能五輪全国大会を目指した訓練について

ア 訓練の方法：

OFF-JTのみ

OJTのみ

OFF-JTとOJTの両方

OFF-JTとOJTの両方であるがOFF-JTを重点に訓練

OFF-JTとOJTの両方であるがOJTを重点に訓練

OFF-JTとOJTの両方に重点

その他

イ 技能五輪全国大会を目指した訓練を開始してから大会までの期間：

約（ ）月

ウ 技能五輪全国大会を目指した訓練の時間数： 約（ ）時間

※百時間、千時間単位でかまいません。

エ 座学による訓練： 約（ ）時間

3 実施体制について

(1)貴機関には、今年度（平成24年度10月時点）、優勝した職種に関して訓練を行っていた選手又は選手候補者が、何人いましたか（大会に出場しなかった選手候補者も含みます）。 （ ）人

(2)当該職種の選手の訓練を行っていた指導員の方は何人いましたか。 （ ）人

(アンケートの回答数)

職種分野	調査対象職種数	回答職種数
全体	40 職種	32 職種
電子技術系 メカトロニクス、電子機器組立て、電工 工場電気設備	4 職種	4 職種
情報通信系 IT ネットワークシステム管理、情報ネットワーク施工 ウェブデザイン	3 職種	3 職種
機械系 機械組立て、抜き型、精密機器組立て、機械製図 旋盤、フライス盤、木型、自動車工	8 職種	8 職種
金属系 構造物鉄工、電気溶接、自動車板金、曲げ板金 車体塗装	5 職種	5 職種
建設・建築系 配管、石工、左官、家具、建具、建築大工、造園 冷凍空調技術、とび	9 職種	6 職種
サービス・ファッション系 貴金属装身具、フラワー装飾、美容、理容、洋裁 洋菓子製造、西洋料理、和裁、日本料理 レストランサービス、時計修理	11 職種	6 職種